

第4章 市全域で取り組む事業

調布駅・布田駅・国領駅周辺地区, 飛田給駅周辺地区, 京王多摩川駅周辺地区の各重点整備地区におけるバリアフリー基本構想では, 設定した地区の課題を整理し, これに基づき特定事業等を位置付けています。

第4章では, 地区の枠組みを超えて, マスタープランで示す「市全域におけるバリアフリー化の促進」に基づき, 調布市が主体となって市全域で取り組む事業を位置付けます。

なお, 以降に示す市全域で取り組む事業は, 特定事業と同様に, 取組の進捗管理を行い, 段階的かつ継続的な発展を目指していきます。

また, 教育啓発特定事業については, バリアフリー法に基づき, 特定事業計画の作成と事業実施により, 主にソフト面におけるバリアフリー化を推進していきます。

1 教育啓発特定事業

心のバリアフリーの促進に向けて、「教育啓発特定事業」として以下の事業に取り組みます。

表 4.1 教育啓発特定事業の内容

項目	事業の内容	実施時期
教育啓発	総合的な学習の時間や職場体験学習等により, 児童, 生徒へのバリアフリーに関する教育・啓発を実施します。	継続
	様々な媒体・出前講座を活用した啓発活動を実施します。	継続
	不法占用物等の指導や看板等の違反屋外広告物の対策を実施します。	継続
	市民や職員, 従業員等を対象とした心のバリアフリーの教育・啓発を実施します(障害理解, 適切な対応等)。	継続
	エレベーターや車いす使用者用トイレ, 車いす使用者用駐車施設の優先利用に関して, 利用者へのマナー啓発を推進します(分かりやすい場所への案内掲示 等)。	継続

2 人的対応・接遇

心のバリアフリーの促進に向けて、「人的対応・接遇」として以下の事業に取り組みます。

表 4.2 人的対応・接遇に関する事業の内容

項目	事業の内容	実施時期
案内所等	手話のできる職員等を案内所等に配置するように努めます。	継続
投票所	投票所において, 車いす, 老眼鏡, 文鎮, 点字器, 身障者用記載台, コミュニケーションボードなどを用意するとともに, 必要に応じて階段や段差等を解消するための簡易スロープを設置します。また, 投票所で事務従事する職員向けのマニュアルに高齢者, 障害者等への対応について掲載し, 説明会にて説明します。	継続
図書館	図書館において, 高齢者, 障害者等に配慮したサービスを提供します(音訳サービス, 点訳サービス, 宅配サービス等)。	継続

3 情報提供

情報提供におけるバリアフリー化の促進に向けて、以下の事業に取り組みます。

表 4.3 情報提供に関する事業の内容

項目	事業の内容	実施時期
情報提供	必要に応じて手話通訳者等を起用し、説明会等で話す内容を同時通訳します。	継続
	調布市ホームページの利用しやすさに配慮します（音声読み上げ機能や文字サイズ・背景色の変更等）。	継続
	市報発行時の「声の広報」による市政情報の発信や説明会の資料等において、必要に応じて音声情報や点字情報等を提供します。	継続
	投票所において、筆談具やコミュニケーションボードを設置し、設置を示す案内を掲示します。	継続
	「調布市公共サイン整備ガイドライン」の考え方にに基づき、旅客施設や周辺施設等の情報について、多様な利用者に配慮した案内板や案内サインの整備を促進します。	継続

4 通学路の安全対策

通学路の安全対策として以下の事業に取り組みます。

表 4.4 通学路の安全対策に関する事業の内容

項目	事業の内容	実施時期
交通安全教育	教育委員会や交通管理者と連携し、交通安全教育や啓発活動を実施します。	継続
安全対策	地域住民や関係事業者等を含めた意見交換等を実施し、通学路の安全対策を実施します。	継続

5 施設整備におけるバリアフリー

小規模施設等のバリアフリー化の促進に向けて、以下の事業に取り組みます。

表 4.5 小規模施設等におけるバリアフリーに関する事業の内容

項目	事業の内容	実施時期
商店	小規模商店等におけるバリアフリー改修等の助成事業を検討します。	継続
開発に伴う道路管理者との連携	十分な幅員が確保できない歩道は、沿道敷地内での通行スペースを確保するなど、沿道敷地と連携した快適な歩行空間の形成を推進します。	継続

6 自転車走行空間の整備，放置自転車対策等

自転車対策に関して以下の事業に取り組みます。

表 4.6 自転車対策に関する事業の内容

項目	事業の内容	実施時期
自転車走行空間の整備	都市計画道路の整備等に併せた空間整備を実施します。	継続
	自転車走行空間のサインを表示します。	継続
放置自転車対策	生活関連経路をはじめとする放置自転車等禁止区域での撤去を継続します。	継続
	放置自転車等の禁止に関する啓発案内の設置を継続します。	継続
	放置自転車クリーンキャンペーンを実施します。	継続
利用マナーの啓発	自転車利用マナーの向上への啓発活動を実施します。	継続

7 障害者スポーツの振興

障害者スポーツの振興に向けて、以下の事業に取り組みます。

表 4.7 障害者スポーツの振興に関する事業の内容

項目	事業の内容	実施時期
障害者スポーツの振興	障害者スポーツの振興における協議体を活用し、各分野が連携し課題解決に向けた取組を実施します。	継続
	様々な主体との連携による体験会や講演会等障害者スポーツ振興事業を実施します。	継続
	地域の担い手の育成、充実に向けて検討します。	継続

8 災害に備えた対策

災害時を想定したバリアフリー化の促進に向けて、以下の事業に取り組みます。

表 4.8 災害に備えた対策に関する事業の内容

項目	事業の内容	実施時期
災害に備えた対策	調布市防災マップ及び調布市洪水ハザードマップについて、視覚障害者の理解・周知のための音声情報や点字情報等を提供します。	継続

9 工事中のバリアフリー

工事中のバリアフリー化の促進に向けて、以下の事業に取り組みます。

表 4.9 工事中のバリアフリー化に関する事業の内容

項目	事業の内容	実施時期
通路等	仮設構造物等の設置により、通路等に段差が生じないようにします。	継続
	安全に留意した迂回路を設定し、十分な幅員を確保するとともに、視覚障害者誘導用ブロックやエスコートゾーンの断絶が起こらないようにします。	継続
人的対応	誘導員を配置し、安全管理と適切な誘導を実施します。	継続
情報提供	工事情報を事前に近隣住民に提供します。	継続

10 福祉施策等との連携促進

福祉施策等と連携したバリアフリー化の促進に向けて、以下の事業に取り組みます。

表 4.10 福祉施策等との連携に関する事業の内容

項目	事業の内容	実施時期
福祉移送サービス	高齢者、障害者等の移動手段の確保の更なる充実について検討します。	継続
スマートフォン講習	高齢者向けスマートフォン講習を実施します。	継続
音声案内	歩行時間延長信号機用小型送信機の普及を促進します。	継続

11 高齢者、障害者等の意見を反映する仕組み

当事者参加によるバリアフリー化の促進に向けて、以下の事業に取り組みます。

表 4.11 高齢者、障害者等の意見を反映する仕組みに関する事業の内容

項目	事業の内容	実施時期
仕組み	バリアフリー推進協議会を活用した高齢者、障害者等の意見反映のシステム構築	継続